

目次

序 章	昭和二十三年 六月二十八日	7
——筆者と福井地震——		
第一章	長兄・政夫の被災体験	27
第二章	三兄・徹夫の被災体験	47
——閑話休題——		
一、徹夫の被災	50	
二、生家の惨状と村落合同葬	57	
第三章	山村地区檀家の救援	67
一、川上村総代・佐野栄作	69	
二、仮設小屋の建設	72	
第四章	福井市と坂井郡の惨状	79

(図版) 主たる被災地区
.....

一、福井市の惨状と農村
.....

二、義妹の被災
.....

三、京大医学部付属病院
.....

四、吉岡、西山両氏の被災体験
.....

五、福井地震についての資料
.....

六、「福井地震」の資料
.....

七、災害の全貌
.....

八、「福井市史」の資料による
—「福井市史」の資料による—
「地震予知」の現状
.....

九、「福井地震」についての予知
.....

十、地震直前予知研究の流れと頓挫
.....

十一、戦後の震災の歴史
.....

十二、福井市立図書館の歴史
.....

十三、福井市立図書館の歴史
.....

十四、福井市立図書館の歴史
.....

十五、福井市立図書館の歴史
.....

十六、福井市立図書館の歴史
.....

十七、福井市立図書館の歴史
.....

十八、福井市立図書館の歴史
.....

十九、福井市立図書館の歴史
.....

二十、福井市立図書館の歴史
.....

二十一、福井市立図書館の歴史
.....

二十二、福井市立図書館の歴史
.....

二十三、福井市立図書館の歴史
.....

二十四、福井市立図書館の歴史
.....

二十五、福井市立図書館の歴史
.....

二十六、福井市立図書館の歴史
.....

二十七、福井市立図書館の歴史
.....

二十八、福井市立図書館の歴史
.....

二十九、福井市立図書館の歴史
.....

三十、福井市立図書館の歴史
.....

三十一、福井市立図書館の歴史
.....

三十二、福井市立図書館の歴史
.....

終 章

第七章

「福井地震」からの教訓
.....

一、体験と手元の資料から
.....

二、「モノミナコワレ」(「ゆきのした文化協会」編、
.....

平成七年三月十五日発行)

142 137 135

「救護隊長実記」東京・城戸 昇。
「母の幼なき日の記録として娘たちに」福井市・吉村直江。
「地震列島に生きて」大野市・大久保英子。

「測量士としての体験を考える」長岡京市・関 剛。

「加藤忠夫氏のレクチャーから」福井市・本谷信雄。

「内陸直下地震」への対処
.....

導入——空襲と地震——
.....

一、居住家屋の資材と構造について
.....

二、日常の準備
.....

(イ) 貴重品類の处置

160 159 155

(ハ) (ロ) 救急箱、保存食などの準備

大工道具類の用意

三、自己防衛と被災者の救助

(ハ) (イ) 自己防衛

(ロ) (イ) 家族、同居人の救助

四、緊急避難所

都市の住宅地

救助用工具類

(ハ) (ロ) (イ) 公共の避難場所

五、原子力発電所と地震

あとがき

170

165

163

162